

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

固定資産の減価償却の方法  
定額法によっている。

## 2 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
減価償却引当資産	714,168	189,072	0	903,240
合 計	714,168	189,072	0	903,240

## 3 特定資産の増減等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財産 からの充当額	うち一般正味財産 からの充当額	うち負債に 対応する額
特定資産				
減価償却引当資産	903,240	0	903,240	0
合 計	903,240	0	903,240	0

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	594,000	376,200	217,800
ソフトウェア	527,040	527,040	0
合 計	1,121,040	903,240	217,800

## 5 計算書類の附属明細書

財務諸表に対する注記に同様の記載があるため、計算書類の附属明細書の記載を省略している。